

報道関係各位

2019年8月26日
一般社団法人 教育のための科学研究所
株式会社 NTTデータ
さくらインターネット株式会社

教育機関向けクラウド型ホームページ運営サービス「edumap」を開始 ～スマートフォンから更新・閲覧ができ、災害発生時の情報交換に活用可能～

一般社団法人教育のための科学研究所（以下：S4E）、株式会社NTTデータ（以下：NTTデータ）とさくらインターネット株式会社（以下：さくらインターネット）は、教育機関向けクラウドサービス「edumap」（読み：エデュマップ）による新たな取り組みを8月27日より開始いたします。

「edumap」は教育機関業務に特化した機能（「学校行事カレンダー」、「学校ブログ」、「資料ダウンロード」など）を標準で備え、すぐにホームページ運営を開始できる無償のサービスです。スマートフォンから管理・更新が可能のため、運営担当者は、修学旅行時など外出先のタイミングでもホームページを更新できます。

また、セキュリティおよび災害時の利用を考慮し、災害発生時にも教育機関関係者・保護者間で情報交換ができる環境を提供します。

教育機関から発信される「edumap」上に蓄積された情報を活用することで、教育従事者の作業負担軽減に繋がるサービスの検討や、近隣学校の危険情報やイベント情報など、これまで単体の教育機関だけでは分からなかった情報の共有が可能となります。

今後、1年半で全国5千校、3年後に全国3万校の教育機関の利用を目指します。

【背景】

近年、さまざまな業界においてデジタル化が進んでいます。教育機関においても、「教育のICT化」として、電子化黒板導入やタブレット配布、教科書のデジタル化などが進んでおり、また、情報発信・コミュニケーションの場となるホームページ活用の重要性もより一層高まっています。一方で、2011年の東日本大震災では多くの教育機関ホームページが被災影響で閲覧できない状況が発生し、安否確認・投稿連絡などのコミュニケーションに活用するためのサービス安定運用に対する課題が顕在化しました。

ホームページの運用では自治体・教育機関ごとに異なるサービスが利用されており、プラットフォームによって提供される機能の有無、ユーザインタフェース、情報粒度の差などがあるため、積極的なホームページ更新、ホームページ上の情報の交換・活用が進んでいませんでした。また、自治体・教育機関ごとに、セキュリティの確保/災害対応の検討および対応を実施し、それらを確保した上でのサーバ環境の維持は難しい状況にあります。

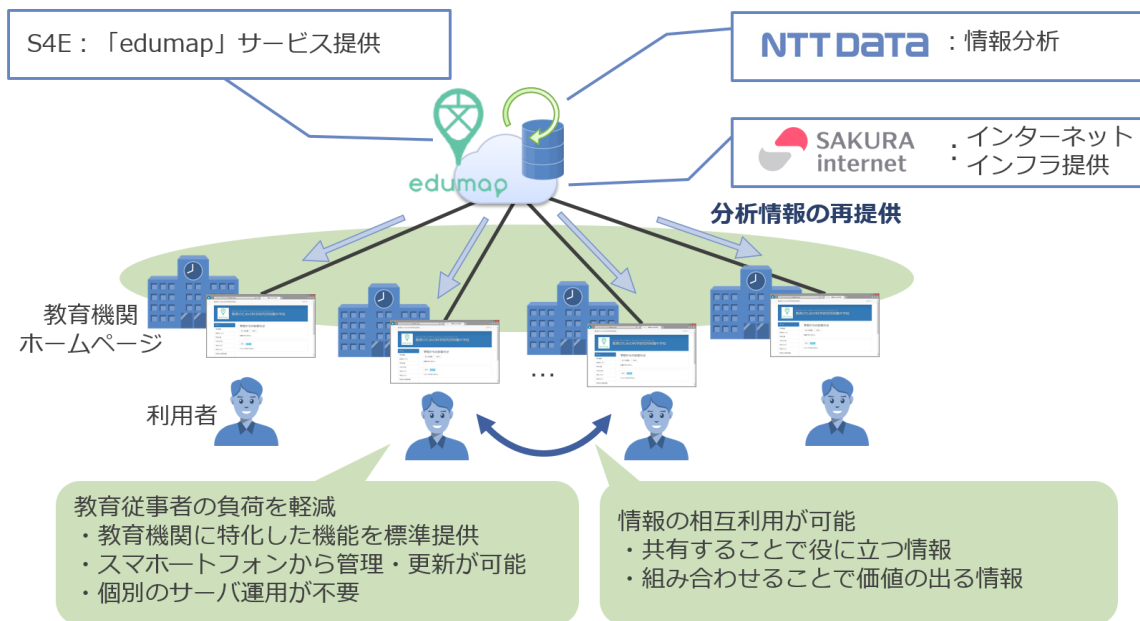
上記背景から、S4Eは全国の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教育機関ホームページが構築可能なサービス「edumap」を、クラウドサービスとして無償で提供します。さくらインターネットは「edumap」のインターネットインフラを提供し、NTTデータは「edumap」上のデータ分析など新たな取り組みを開始します。

【概要】

「edumap」は、教育機関業務に特化した機能（「学校行事カレンダー」、「学校ブログ」、「資料ダウンロード」など）が多数標準で利用できるため、教育機関はすぐにホームページの運営を開始できます^(注1)^(注2)。また、パソコンだけでなくスマートフォンのWebブラウザからも管理・更新を行えるようになるため、運営担当者は、修学旅行時など外出先からホームページが更新可能です。また、利用者である保護者や生徒などもスマートフォンから閲覧できます。

セキュリティおよび災害時の利用も考慮したサービスであり、災害発生時にも教育機関関係者・保護者間での情報交換が可能となります。

これにより、教育機関から保護者や生徒への情報発信・コミュニケーションが活性化し、さらに災害時にも情報交換の場として活用できます。



【各社の役割】

■S4E

サービスの提供主体として、「edumap」を常時・非常時を問わずセキュアで安定的に利用可能なクラウドサービスとして提供します。また、スマートフォン等のモバイル端末による管理・投稿・閲覧を可能とすることで、利用者のホームページ活用を促進します。

本サービスを無償で提供し、教育機関におけるデジタル環境のコミュニケーション活性化を支援します。

■NTTデータ

情報活用のためのデータ分析・活用を実施します。「edumap」上に蓄積された情報を分析することで、教育従事者の作業負担軽減につながる情報を各教育機関へ提供が可能になります。また、「edumap」の利用者ニーズを収集することで、より情報発信がしやすくなるための分析を行います。

さらに、近隣の複数教育機関における危険情報やイベント情報などを分析し、これまで単体の教育機関だけでは分からなかった新たな情報価値を生み出します。

■さくらインターネット

「edumap」のインターネットインフラとして、さくらインターネットのIaaS型クラウド「さくらのクラウド」を提供します。「さくらのクラウド」は、複数拠点での冗長構成が可能のため、BCP/DR対策に有効です。さくらインターネットは、冗長構成を一部無料で行うなどの支援を行います。

【今後について】

教育機関向けプラットフォーム「edumap」は、今後1年半で全国5千校、3年後に全国3万の教育機関の利用を目指します。さらに、「edumap」上で得られた知見を、広く社会全体に提供していきます。

(注1) 「edumap」は教育機関向けのホームページが作成可能なCMS（コンテンツマネジメントシステム）であるNetCommonsを基盤としてサービスを構築しています。NetCommonsは、これまで全国約5千の教育機関に導入されており、また、東日本大震災の際にも情報交換のツールとして利用された実績があります。最新バージョンの3.0ではセキュリティの向上、スマートフォン利用の最適化がなされており、このCMSを活用することで、教育機関にとって導入段階から利用がしやすく、また、平常時・災害時に限らずスムーズな情報交換が可能となります。

(注2) 「edumap」に関する詳細は下記をご参照ください。

<https://edumap.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

■報道関係のお問い合わせ先

一般社団法人 教育のための科学研究所 edumap 担当

E-mail : info-edumap@s4e.jp

株式会社N T Tデータ 広報部 岡林、大島

TEL : 03-5546-8051

さくらインターネット株式会社 広報担当

TEL : 03-5332-7070 E-mail : press-ml@sakura.ad.jp

■製品・サービスに関するお問い合わせ先

一般社団法人 教育のための科学研究所 edumap 担当

E-mail : info-edumap@s4e.jp

株式会社N T Tデータ

IT サービス・ペイメント事業本部 SDDX 事業部

マーケティングデザイン統括部 デジタルマーケティング担当

尾崎、伊東、古谷

TEL : 050-5546-9092

さくらインターネット株式会社

カスタマーリレーション本部 営業部 フィールドセールス

幸地、税所

TEL : 03-5332-7071